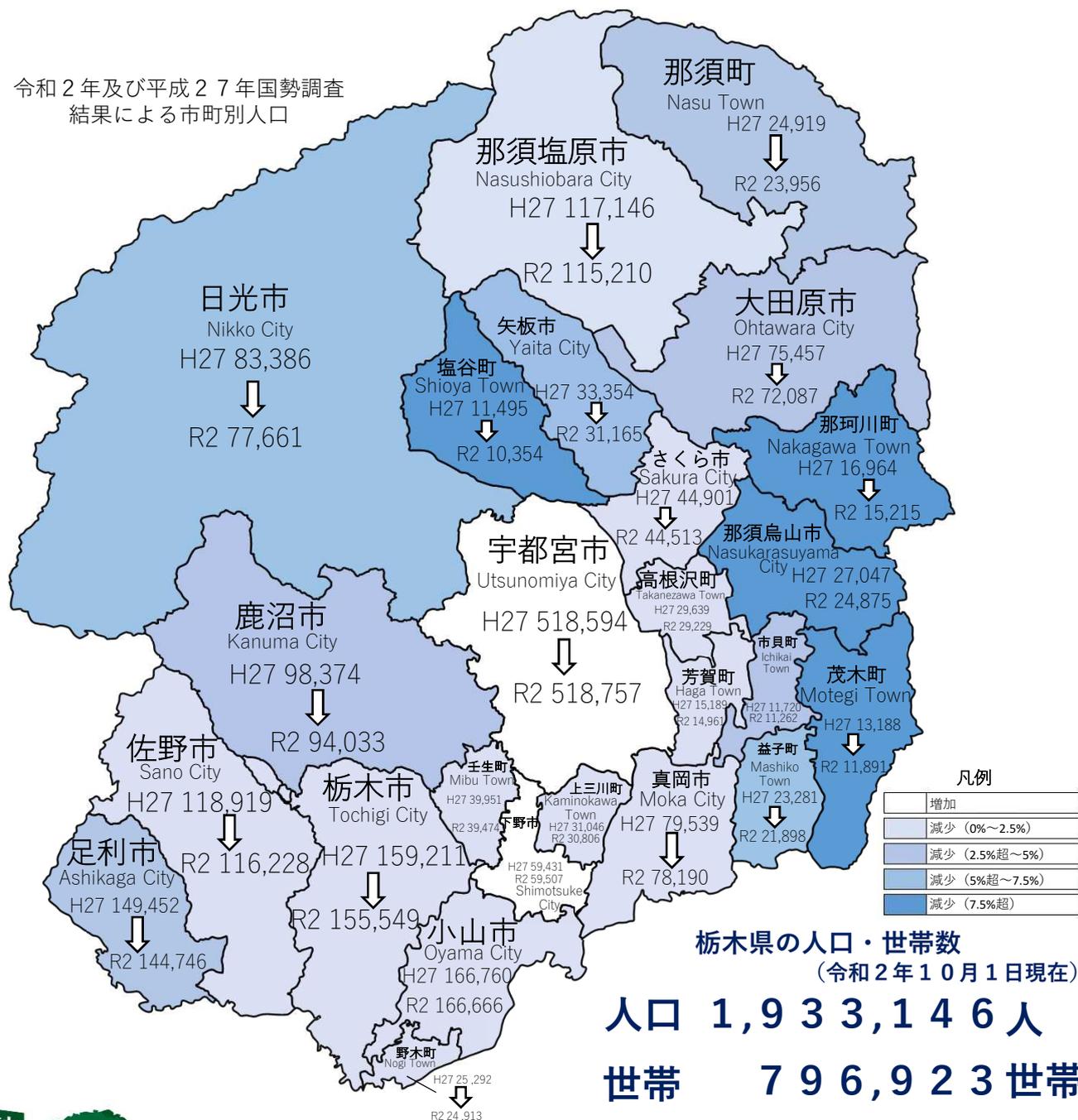


栃木県 国勢調査

100年のあゆみ

~The 100th anniversary of Population Census~

令和2年及び平成27年国勢調査
結果による市町別人口



栃木県の人口・世帯数
(令和2年10月1日現在)

人口 **1,933,146人**
世帯 **796,923世帯**



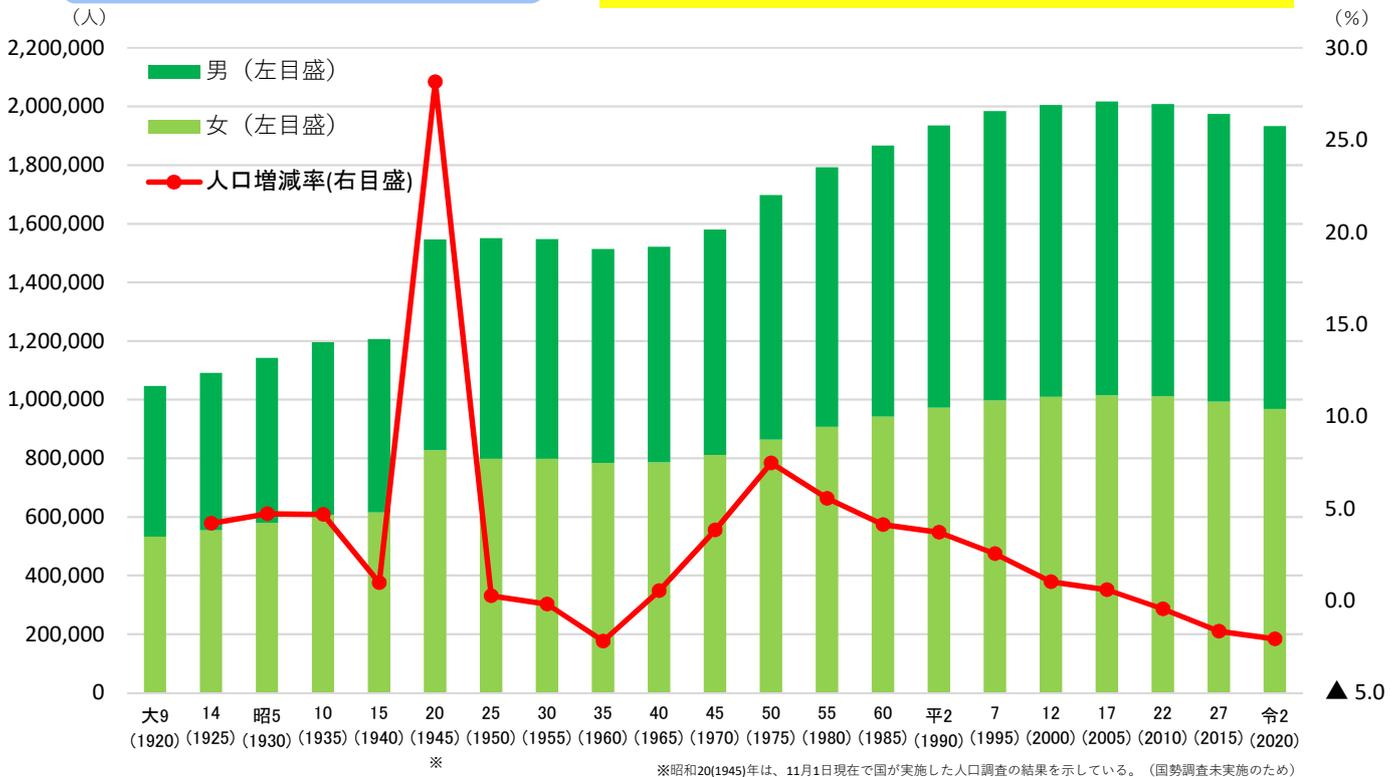
— 国勢調査ってなに？ —

- ★日本の人口や世帯の実態を明らかにする、国の最も重要な統計調査です。
- ★日本国内に住んでいるすべての人と世帯を対象として、5年に一度実施されています。
- ★大正9年に開始され、令和2年の調査で100年の節目を迎えました。

100年に渡って実施されてきた国勢調査。最新の令和2年調査を中心に、調査結果の一部をご紹介します。

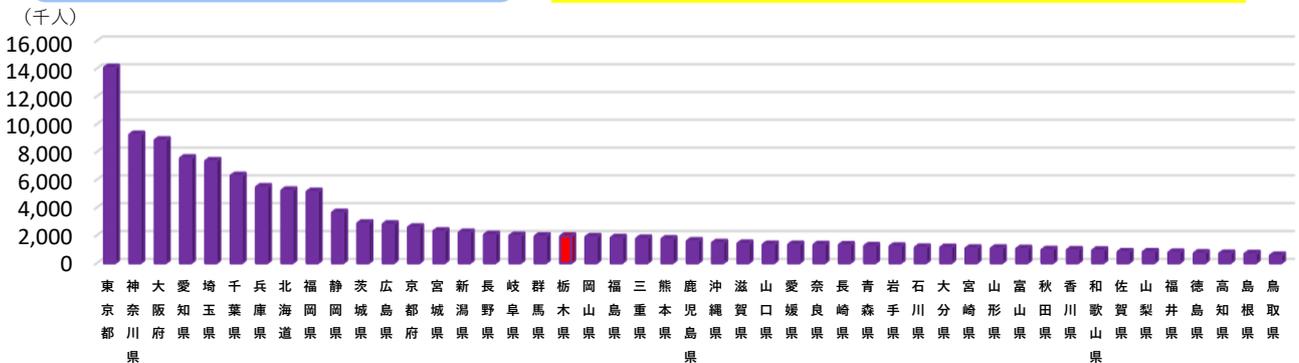
栃木県の人口推移

本県の人口は3回連続で減少



都道府県別の人口

第一回調査時は全国25位



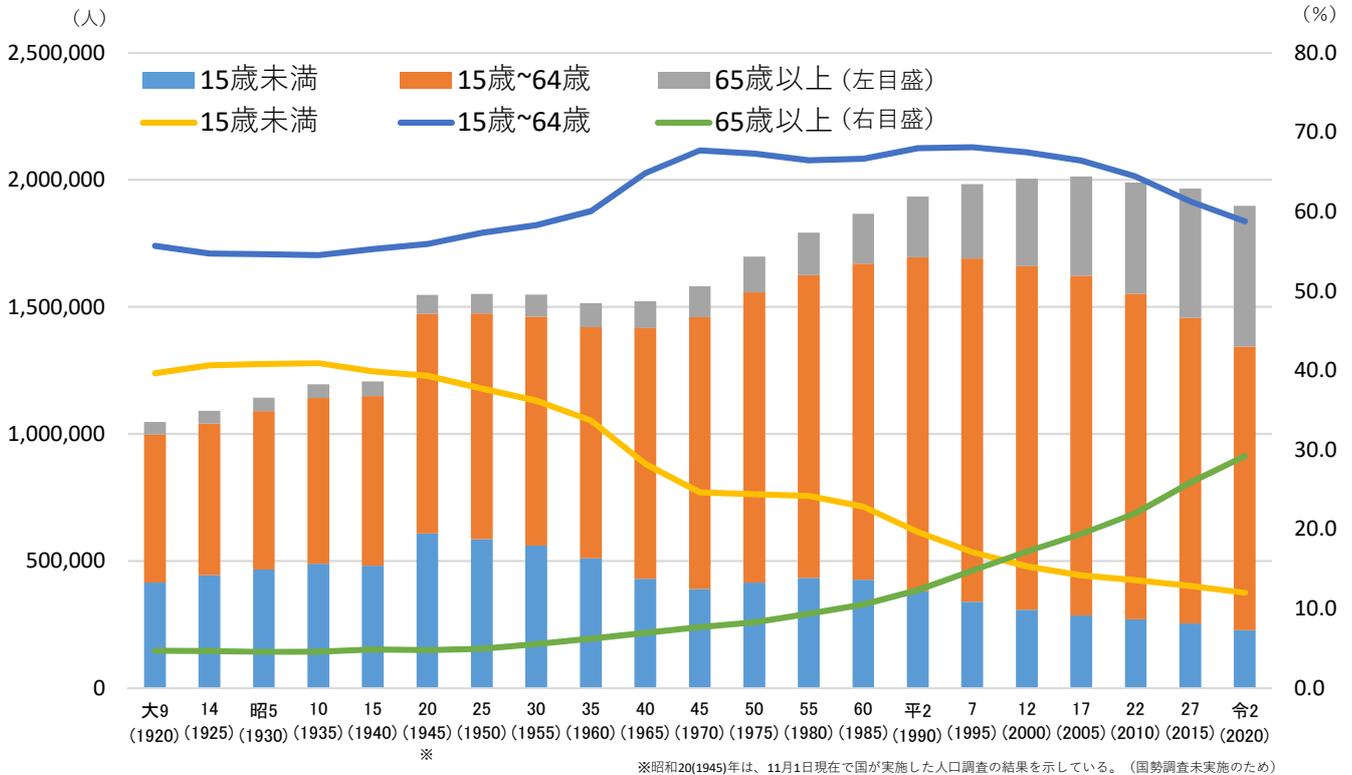
令和2年調査における本県の人口は、前回の平成27年調査と比較して男性は16,696人の減少、女性は24,413人の減少となり、全体で41,109人の減少となりました。

平成12年調査で初めて200万人に到達し、それ以降3回連続で200万人以上を記録していましたが、前回調査から2回連続で200万人を下回りました。

都道府県別の人口の全国順位は19位でした。(前回は18位)

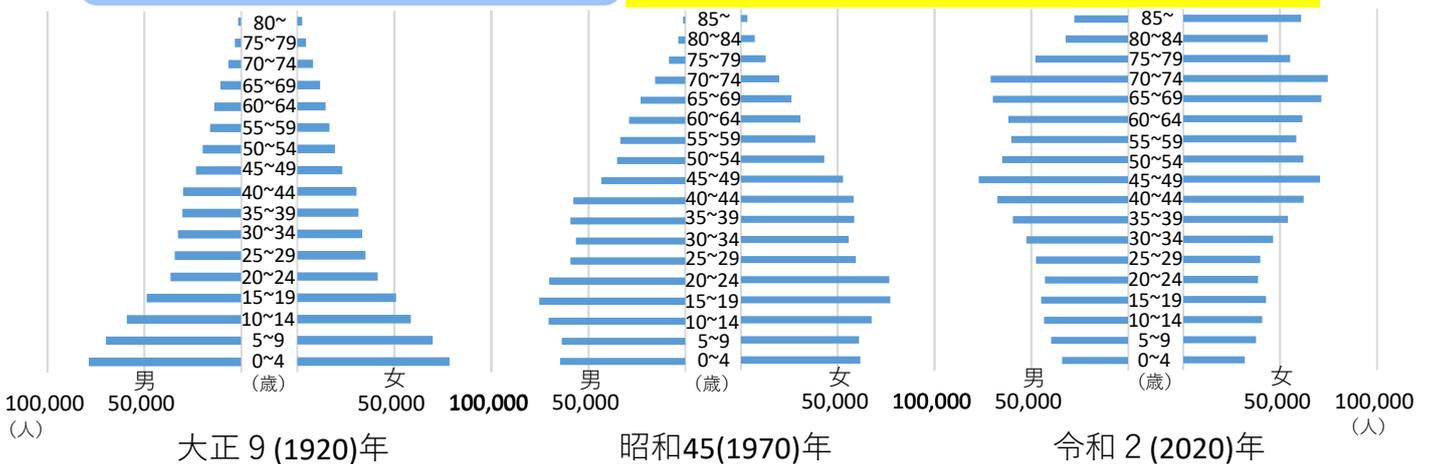
人口構成の推移

少子高齢化の進行



5歳階級別人口構造 (人口ピラミッド)

富士山型から釣り鐘型、つぼ型へ



年齢3区分別にみたときの総人口に占める割合を前回調査と比較すると、15歳未満人口は12.9%から12.0%（過去最低）に、15~64歳人口は61.3%から58.8%に、65歳以上人口は25.9%から29.2%（過去最高）になりました。



いちご一会とちぎ国体

第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

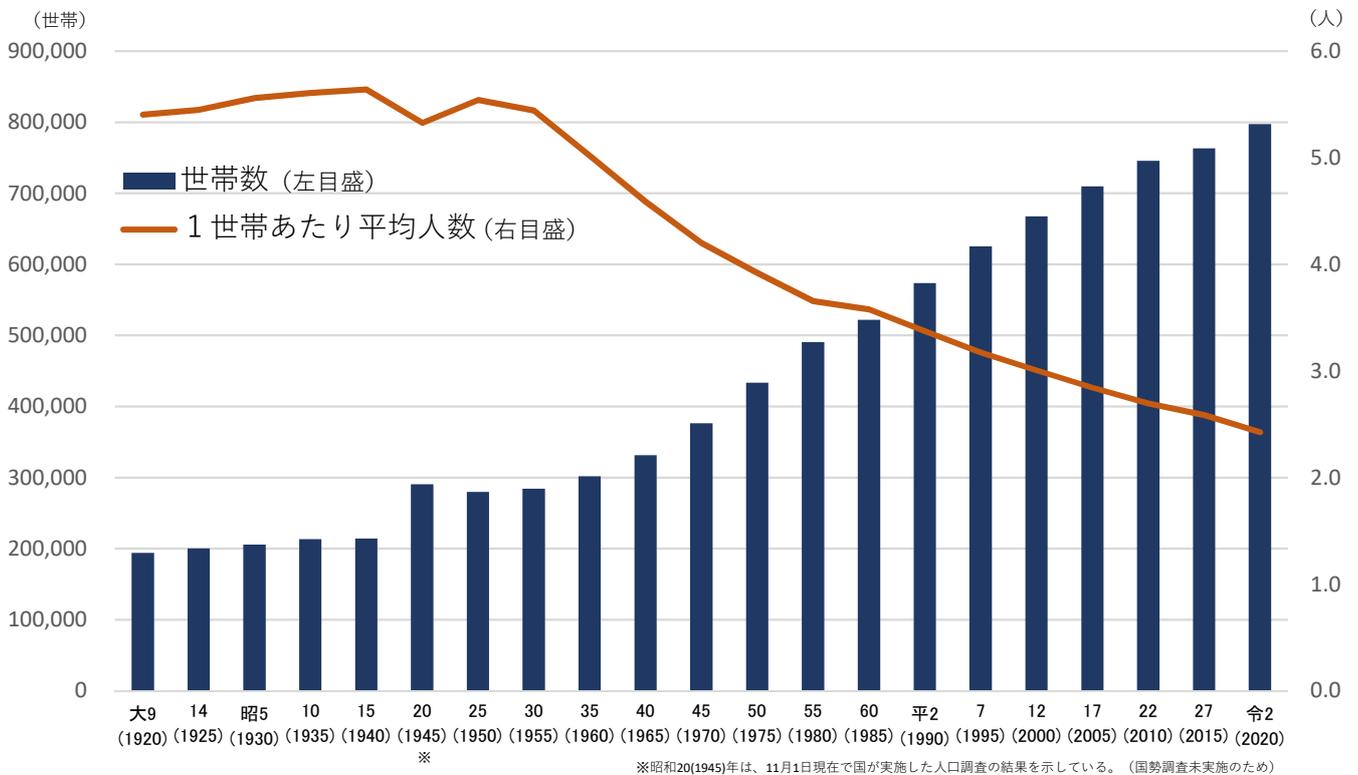
いちご一会とちぎ大会

第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022



世帯数の推移

過去最大の世帯数と過去最少の1世帯あたり人数



県内の世帯数は、調査開始以来ほぼ一貫して増加傾向にあります。一方、一世帯あたりの人数は減少傾向が続いています。

国勢調査の活用状況

調査から得られた結果は、生活環境の整備や社会福祉など、私たちの暮らしの様々な分野に役立てられています。

活用状況の一例

地方交付税の算定基準



衆議院議員選挙区の画定



防災計画の策定



学術研究



企業での利用



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

国勢調査の結果は、国民共有の統計データを形成し、社会の持続的な発展を支えます。国際社会全体で取り組む「持続可能な開発目標(SDGs)」の基盤情報としても活用されています。

とちまるくん ©栃木県

お問い合わせ先

栃木県県民生活部統計課

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20

TEL:028-623-2246

詳細な調査結果を知りたい方はこちらをご参照ください

総務省統計局ホームページ

<https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html>

栃木県ホームページ

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c04/pref/toukei/toukei/top.html>

